

# ガジュマルの聲



<教育目標>  
と：徳を積み  
み：未来に向かって  
え：英気を養う

発行  
五島市立富江小学校  
校長 坂本 憲司

## 未来に向かって学力向上を!

運動会から1ヶ月経ちました。子供たちの頑張りと保護者の皆様の御協力により、大成功の運動会となりました。保護者の皆様には、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

※天気が良すぎると、熱中症対策等が必要になります。昨今の気象状況下では、運動会の午前中開催を続けた方が良かったと感じました。

さて、今回は「学力向上の取組」についてお知らせいたします。在籍する子供に学力を付け、「将来の進路選択の幅」を広げさせることは、学校の使命です。4月に実施した「県学力調査（5年生）・全国学力・学習状況調査（6年生）」をもとに説明します。

### 1. 「全学・県学」問題の特徴

「全学・県学」の結果は、各校の学力の実態をはかる指標となります。次のような問題の特徴があります。

- ① 難しい問題ではないが、たくさんの情報（文章）の中から、必要な情報を見つけなければならない。  
・ ページを何回もめくって戻る作業が必要
- ② 身に付けている知識（4年生程度の内容）を活用して考え、自分の考えを書かなければならない。
- ③ 今後、高校入試や大学入試でも、同様の問題が導入されると思われる。

### 2. 「県学」の結果

5年生の県学力調査結果について、五島市教育委員会分析結果（速報値）が届きましたが、残念な結果に終わりました。

- 国語・算数ともに、五島市全体の平均を下回った。

※全国学力・学習状況調査（6年）の結果については、改めてお知らせいたします。

### 3. 改善に向けた取組

6月6日に、全職員でこの結果について検討する会議を設けました。次のような意見が出されました。

- ① そもそも、国語の力（言葉の力）が低いので、算数の文章題が解けない。
- ② 漢字の練習等で、ただ書くだけで覚えようとしていない。
- ③ 最初から「できない」とあきらめてしまう子供が多い。

- ① 授業中、どの学級でも「当たり前」に授業が行われている。市販テストの成績は伸びている。学力が伸びないはずはない。
- ② 県学力調査でも、全く答えを書かない「無回答」は減っている。成長している。
- ③ 教師が丁寧な指導で教え過ぎ・説明し過ぎてている。もっと子供たちに考えさせ、説明させたい。

そこで、次のことを意識して授業改善に取り組みます。

- ◎ 授業で自分の考えをもたせ、書いたり表現し合ったりする活動を、毎時間1回以上入れる。

全職員で知恵を出し合い、指導法の工夫をしながら、子供たちの学力を伸ばす取組を推進します。